

4代目 新型プリウス発売



今年12月に発売予定の新型プリウスは、優れた燃費性能に加え、先進の安全性能、ワクワクドキドキを感じさせる運転の楽しさを念頭に開発されました。加えてTNGA(トヨタ・ニュー・グローバル・アーキテクチャー)によるクルマづくりの構造改革により、40km/L(一部グレード)の低燃費の実現とともに、「カッコ良さを際立たせる低重心スタイル」や「走りの良さ・乗り心地の良さ・静かさ」といったさまざまな基本性能の大幅向上を目指しました。これらの実現により、新型プリウスは、クルマ本来の楽しさをお届けするために、そして、人や社会に優しい存在として、ハイブリッドカーの新たな先駆けとなるために生まれ変わります。

特 徴

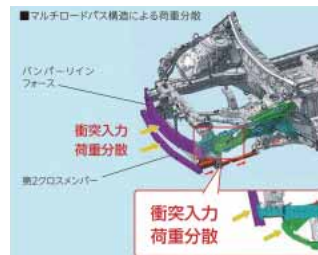
- ①低重心パッケージによる走りの良さを訴求するスタイル、先進的で温かみを持たせたインテリア
- ②目標燃費40km/L(一部グレード)を実現するために進化したハイブリッドシステム
- ③進化した安全性能と、いつまでも乗り続けたい「走りの楽しさ・乗り心地の良さ・静かさ」



エンジンは排気量1.8Lの改良型2ZR-FXEで、クラストップレベルの最大熱効率40%を実現



低損失素子の採用による約20%の損失低減を実現するとともに、小型化を実現



全方位コンパティビリティボディ構造

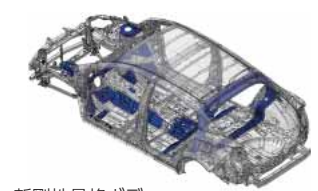
- ④「先駆け」の名を持つプリウスにふさわしい充実の先進装備



Toyota Safety Sense P



基本性能が大幅に向上したハイブリッドシステム



新剛性骨格ボディ

「トヨタ親子学習プログラム」への取り組み



北米トヨタが社会貢献活動として取り組んでいる当プログラムは、移民親子などを対象とした識字プログラムです。親子で英語を学ぶことで識字能力を飛躍的に高め、親子の教育および経済的な向上を促すことを目的に1991年より開始されました。現在では全米31州、56都市、276拠点で開催しています。9月には社長の豊田がラスベガスの学校を訪問し、親子でサボテンを植える作業などを通して、楽しく英語の読み書きを学ぶ様子を見学しました。



「MIRAIへつなぐ『夢の教室』in 豊田」の開催

日本サッカー協会(JFA)と豊田市が昨年10月に協定を締結した「JFAこころのプロジェクト」に中京大学と当社が支援団体として加わり、全国初の4者協働の当プロジェクトを開始しました。今年度は豊田市内の22小学校51クラスで授業をスタート。当社に在籍するアスリートや、JFAから派遣されるアスリートらが「夢先生」を務め、夢を追いかける過程を語り合うことで、夢を持つことの素晴らしさ、努力することの大切さを児童たちに伝えます。また、当社からも、人材育成の一環として、若手従業員をボランティアスタッフとして派遣し、授業をサポートしています。

